

序

今年度の実習は、いろいろな事情でフィールドが手に入らず、ぎりぎりになって天城町の皆さんが手を貸して下さり、辛うじて実施することができた。実に有難かった。町長・教育長をはじめとする行政機関の方々、地域の人々、奄美考古学会員を代表して御奔走下さった吉岡武美氏とその友人の皆様にご心から御礼を申し上げたい。

おかげさまで、実習の成果としてはそれなりに見るべきものがあったようだ。ある者は1つの柱穴の側に1週間以上も座り続け、埋め戻しの号令を聞いてさも満足そうに腰を叩いて立ち上った。またある者はまかされたグリットをもて余してその中にトレンチを掘り、そのトレンチをもて余してそのまた隅を狸掘りし、結局2回にわたって遺構をぶち抜いてしまった。実習であるからには、それでよろしいのだ。それぞれの個性に見合う十分な収穫があったはずである。

学術調査としても一応の成果があった。それは本文に譲るとして――、文章については前回の実習で強く注意しておいたし、個々の文章は直ってもいた。それでもお互いの読み合せ等がいいかげんであることを添削の段階で察知して注意を重ねたがだめであった。何と校正の段階で本格的な読み合せをやったらしい。印刷の会社は驚いたであろうし、担当者自身もさぞ苦しかったろう。とにかく、手は抜かぬことだ。図面の縮少率が大きいためのとびやかすれについては毎回注意するのだが直らない。一度印刷所の見学をやることにしようか……………。

ところで土器組成の観察については教養部地学の先生方の御指導をいただいた。火を受けたと思われる鉱物粒の観察方法・記述方法については工学部製練工学の先生方の御指導をいただいた。特に、堀一夫先生は今年度で御退官になられる。長年の当研究室学生に対する御指導に心底からの謝意を表する次第である。

1986年3月20日

白木原 和美

例 言

- 本書は鹿児島県大島郡天城町大字天城字真瀬名2646—1 所在の^{タマグスク}玉城遺跡の発掘調査報告書である。
- 発掘調査は1985年7月12日に開始され、7月23日に終了した。

本文目次

玉城遺跡調査報告

一、遺跡の位置と環境	4
二、調査の概要	7
1. 調査の目的と経過	7
2. 層 序	11
三、遺 構	15
四、出土遺物	29
1. 陶磁器	29
2. 土器	36
3. 土製品	37
4. 黄褐色の塊状粒	37
五、まとめ	38

付 周辺遺跡分布調査報告

一、遺跡の概要	74
1. 大城	74
2. 大和城	75
3. 千間遺跡	76
4. 塔原遺跡	78
5. 鍋窪地区	83
6. 大久保地区	88
7. 戸ノ木地区	89
8. 馬塔地区	90
9. ナーデン塔地区	92
二、まとめ	93

玉城遺跡挿図・図版目次

挿図目次

第1図	徳之島主要遺跡分布図	5
第2図	調査地付近の地勢	7
第3図	地形測量図	9
第4図	遺構配置図	12
第5図	土層断面図	13
第6図	1号遺構実測図	17
第7図	2号遺構実測図(1)	21
第8図	2号遺構実測図(2)	23
第9図	2aピット構築模式図	25
第10図	3・4号遺構実測図	27
第11図	カムイヤキ窯系陶片実測図(1)	31
第12図	カムイヤキ窯系陶片実測図(2)	33
第13図	白磁・青磁・無釉陶器・染付実測図	35
第14図	土器及びその他実測図	37

図版目次 43~71

1 上	玉城遺跡遠景(北より)
下	同(南より)
2 上	玉城遺跡遠景(北東より)
下	同 近景(東より)
3 上	玉城遺跡現状(南より)
下	調査区全景(西より)
4 上	調査区南側(西より)
下	同 北側(南西より)
5 上	1号遺構(北東より)
下	同(南西より)
6 上	1号遺構遺物出土状況(土坑内)
下	2号遺構(北より)
7 上	2号遺構溝状遺構(南東より)
下	同 溝状遺構及びピット(西より)
8 上	2号遺構ピット群・黒色土及び焼土(南より)
下	同 2aピット検出状況1(南西より)
9 上	2号遺構2aピット検出状況2(南西より)
下	同 3(南西より)
10 上	2号遺構遺物出土状況(2rピット内)
下	同(溝内)
11 上	2号遺構遺物出土状況(溝状遺構内)
下	3号遺構(北より)
12 上	4号遺構(北より)
下	同(東より)
13 上	4号遺構遺物出土状況(4aピット内)
下	カムイヤキ窯系陶片(1)
14 上	カムイヤキ窯系陶片(2)
下	土器及びその他
15 上	白磁・青磁・無釉陶器
下	同 裏面

周辺遺跡分布調査挿図・図版目次

挿図目次

第1図	表採土器実測図(1)	79
第2図	表採土器実測図(2)	81
第3図	表採石器実測図(1)	84
第4図	表採石器実測図(2)	85
第5図	表採石器実測図(3)	86
第6図	表採石器実測図(4)	87
第7図	表採土器・陶器実測図(3)	89
第8図	表採石器実測図(5)	90

図版目次 95~119

1 上	大城遠景
下	同 近景
2 上	大城広場
下	同 東南門(たつみの門)
3 上	大城南門(はえ門)
下	同 広場を区画する石組
4 上	大城土塁頂上の集石
下	同 二の丸及びその下の平坦面
5 上	大和城遠景
下	同 頂上の祭場
6 上	千間遺跡遠景
下	同 近景
7 上	千間遺跡遺物包含層断面
下	同
8 上	塔原遺跡近景
下	鍋窪地区遺物散布地近景
9 上	大久保地区遺物散布地近景
下	同
10 上	戸ノ木地区遺物散布地近景
下	馬塔地区遺物散布地近景
11 上	表採土器(1)
下	同(2)
12 上	表採土器・陶器(3)
下	表採石器(1)
13 上	表採石器(2)
下	同(3)